

平成 24 年度 事業報告

1 事業の成果

平成 24 年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として、環境学習・教育事業、環境保全に関する普及啓発事業、情報収集及び情報提供事業を行った。

定例講演会は第 117 回（年度中 6 回）を迎えたほか、3 月には他団体との協力による公開シンポジウムを開催した。

【環境学習・教育事業】

環境学習・教育事業としては、「子ども環境カレッジ」と題し、小中学生を対象として、GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」を実施し、身近な環境について体験し考える環境教育を行った。また、世田谷区駒沢地区において一般市民を対象とした定例講演会を 6 回開催した。

【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、平成 23(2011)年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2012」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

さらに、前年に引き続き、漁場環境としての内湾・沿岸について、その現状と抱えている問題を認識し、課題解決への道を模索することを目的とした、第 3 回となる公開シンポジウムに参画し、企画・運営に協力した。

【情報収集及び情報提供事業】

情報収集及び情報提供事業として、神奈川県環境科学センターが実施している「河川のモニタリング調査」の調査方法や生物同定支援のために、SNS サーバーを利用した仕組みを提供しており、平成 24 年度は主として、モニタリング調査日程の案内や参加連絡などの掲示板として利用されている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲 および人数	支出額 (千円)
環境学習・ 教育事業	「子ども環境カレッジ」 環境と生物に関する 室内セミナー等	8月25日(土) (13:00~17:00)	世田谷区 駒沢	21人	小学生・幼児, 保護 者 (39人, 28人)	73
	環境保全に関する 講演会、 セミナー、 シンポジウム等	4月11日(水) 5月28日(月) 6月26日(火) 7月23日(月) 10月29日(月) 12月10日(月) (原則 17:00~ 18:30)	世田谷区 駒沢 (12月10日 は大阪で開 催)	5人 /1回	一般市民 (※事務局・社員・外部の 総数) 139人 102人 153人 90人 158人 144人	625
環境保全に 関する普及 啓発事業	活動報告書の作成	5月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数 1,900)	812
	ホームページの運営	4月~3月	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (不特定多数)	24
	フォーラム「川崎の生 物多様性を考える」	10月14日(日)	神奈川県 川崎市	2人	主として川崎市の 一般市民 (130人)	1
	「谷津干潟保全対策事 業現地見学会・子ども コーナー」運営協力	1月26日(土)	千葉県 習志野市	5人	主として千葉市の 一般市民 (150人)	0
	「東京湾フェスタ」に パネル展示 「東京湾をよくするた めに行動する会」への 協力	2月10日(日)	港区 港南	2人	一般市民 (150人程度)	7
	漁業用水問題に関する シンポジウム	3月7日(木) 13:00-17:30	世田谷区 駒沢	25人	82人	320
情報収集及 び情報提供 事業	「神奈川県河川のモニ タリング調査」へのサ ーバー提供	4月~3月	世田谷区 駒沢	2人	主に神奈川県民 (50人)	0
	「東日本大震災に伴う 水産業の復興に関する 協議会」(楽水会)の運 営協力	11月~3月	世田谷区 駒沢	3人	社団法人楽水会会 員及び宮城県・岩 手県沿岸漁業従事 者(30人)	0

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲 および予定人数	支出 (千円)
	実施せず					

NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 24 年度開催事業一覧(1)

日 時	事 業	備 考
4 月 11 日(水)	●第 112 回（平成 24 年度第 1 回）定例講演会 『生態系評価を地図化する試み』	中村 太士 先生 (北海道大学大学院農学研究科 教授)
5 月 24 日(木) 28 日(月)	※平成 24 年度（第 9 回）通常総会 ●第 113 回（平成 24 年度第 2 回）定例講演会 『オゾンの植物影響－森林生態系と食糧生産への影響』 ◇GEC 活動報告書 2012 発刊	河野 吉久 先生 (財団法人電力中央研究所 研究アドバイザー)
6 月 26 日(火)	●第 114 回（平成 24 年度第 3 回）定例講演会 『鉄を利用した海の緑化と沿岸域の環境保全』	山本 光夫 先生 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任准教授、海の緑化研究会 会長)
7 月 23 日(月)	●第 115 回（平成 24 年度第 4 回）定例講演会 『物質収支・エネルギー収支の解析から考える持続可能社会と対策』	藤江 幸一先生 (横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授)
8 月 25 日(土)	○子供環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」	GEC ホール 67 名参加（小人 39, 大人 28）
10 月 14 日(日) 29 日(月)	◇運営協力：フォーラム「川崎の生物多様性を考える」 ●第 116 回（平成 24 年度第 5 回）定例講演会 『これからの内湾自然再生の方向性とそれを支える科学技術』	中村 由行先生 (独立行政法人港湾空港技術研究所 研究主監)
11 月 5-6 日 28 日	△運営協力：「東日本大震災に伴う水産業の復興に関する協議会」委員会・現地調査	
12 月 10 日(月)	●第 117 回（平成 24 年度第 6 回）定例講演会 『物質循環の視点から内湾流域圏の水環境を考える』	西田 修三先生 (大阪大学大学院工学研究科 教授)
1 月 26 日(土)	◇運営協力：「谷津干潟保全対策事業現地見学会・子どもコーナー」	
2 月 10 日(日)	◇パネル出展：「東京湾フェスタ」	「東京湾をよくするために行動する会」に協力

NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 24 年度開催事業一覧(2)

<p>3 月</p> <p>7 日(木)</p> <p>28-29 日</p>	<p>◇第三回 内湾の機能回復シンポジウム 【水環境への提言～漁業生産を維持するために】</p> <p>・『食糧問題と漁業用水』</p> <p>・『瀬戸内海の生物生産と環境管理』</p> <p>・『ノリ養殖環境の改善に向けた取り組みと課題』</p> <p>・『瀬戸内海の魚介類漁業の現状と課題』</p> <p>・『物質循環からみた漁業・養殖業の在り方 - 播磨灘を例として-』</p> <p>・総合討論</p> <p>△運営協力：「東日本大震災に伴う水産業の復興に関する協議会」現地調査</p>	<p>開会挨拶：田畑日出男 先生 (NPO-GEC 理事長)</p> <p>眞鍋 武彦 先生 (瀬戸内 Aqua Lab、元兵庫県水産技術センター所長)</p> <p>松田 治 先生 (広島大学名誉教授)</p> <p>反田 實 先生 (兵庫県立農林技術総合センター 水産技術センター所長)</p> <p>濱口 昌巳先生 (瀬戸内海水産研究所 主幹研究員)</p> <p>畑 恭子先生 (いであ株式会社 主任研究員)</p> <p>コーディネータ：原 武史 先生</p>
---	---	---

○環境学習・教育事業（子ども環境カレッジ）

●環境学習・教育事業（環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等）

◇環境保全に関する普及啓発事業

△情報収集及び情報提供事業